

長根だより

令和3年10月15日

No. 6

長根小 学校通信

【校訓】

強く

明るく

よく励む

全力出시켰ね! スポーツ大会

長根小学校長 弓削 善靖

緊急事態宣言が解除され、ほんの少しホッとした感じを味わい始めた10月2日(土)、スポーツ大会が1・2年、3・4年、5・6年に分かれて、青空の下開催されました。

児童会が募集したスローガンは、『全員主役だ!全力出시켰ねっ子』でした。たくさんの応募の中から6年生のIさんの案が採用されました。

スポーツ大会は、リゾートのように、そこに行けば楽しいことが待っているわけではありません。楽しくするのは、子どもたち自身です。その意味でも、Iさんが考えたスローガンは、自分たちでスポーツ大会の楽しみを作り出すためのとても大切なスローガンとなりました。

全校が共通して準備体操代わりに練習してきたダンス(昨年度まで本校で担任だったK先生に作っていただきました)は、夏休みの終わりに長根小ホームページの動画で紹介していました。なんと、最初の練習のときにはすでに多くの子が踊れるようになっていました。昨年も実は同じことが起きていてとてもびっくりしたのですが、今年も同じように子どもたちが準備を進めていたことは大変うれしいことでした。ちょうど教育実習に来ていた実習生の一人は、本番で子どもたちがダンスする表情を見て思わず涙がこぼれそうになったそうです。子どもたちの全力を出し切ろうとする気持ちがよく伝わったのだと思います。また、各学年の競争遊技を見ている、決して勝ち負けだけにこだわるのではなく、素晴らしい笑顔と真剣な表情で競技する姿が見られ、勝ち負けの判定のあとには互いに拍手を送り合う様子に清々しさを感じました。全力を出しきる主役たちの姿に心を打たれました。

地域の皆さんを来賓としてお招きすることができなかったのはとても残念でしたが、私たちがウィズコロナの生活を確立できたときには、たくさんの方々にごらんいただきたいと思っています。おいでくださった保護者の皆様、いろいろ制限のある中での開催でしたが、ご理解・ご協力をいただきまして本当にありがとうございました。



スポーツ大会1・2年のダンス(左)と3・4年の「竹取ファイト」(右)

修学旅行に出かけます 19・20日

奈良→京都 学問を修めに



昨年度も、コロナ感染防止対策をしっかり立てる中、何とか実施することができた修学旅行でしたが、今年も今のところ無事実施できそうな気配です。

修学旅行と書きますから文字通り「学問を修める」ことが最大の目的であることはもちろんですが、今回、企画段階で重視したポイントは、仲間と一緒に食べる食事を充実させることでした。カレーライスやハンバーグといった子どもたちが普段食べているものよりは、少しでも心に残るものをと考えました。

宿をユースホステル(世界で最も居心地のよいユースホステルに3度選ばれています!)にし、宿泊代金を減らすことで、昼食をすこし豪華なものや京都を感じさせる料理にすることができました。代金は、残念ながら「GoTo」の恩恵がないので昨年のように安くはなりません、昨年の当初の予定金額と同じくらいには抑えることができました。修学旅行の概要は、左上のQRコードからご覧いただくことができます。



昨年の修学旅行

ボランティア再開です！

10月1日に、緊急事態宣言が解除されることが決まった9月の末、ねこSAPOさんを中心としたボランティア再開の動きが早速始まりました(子どもとかかわらない飼育ボランティアなどはずっと続けていただいていた。いつもありがとうございます。)。1番に始まったのは10月1日(金)の「葉っぱの会」の皆さんによる読み聞かせです。「やっぱり学校で子どもたちに会えるのはいいですね～」とおっしゃられる「葉っぱの会」の方のしみじみとした表情を見ていると、こちらもうれしくなりました。

その次は、6年生に入っていたいただいたミシンの実習の支援ボランティアです。個別への指導が効果を生むミシンの実習は、支援の手が入ることがすぐに大きな効果を生みます。学校が地域とともにある事のありがたみを実感しました。



再開された読み聞かせ(左)とミシン実習の支援ボランティア(右)

